

令和3年度 第2回豊田市スポーツ推進審議会 会議録

【日 時】 令和3年12月21日(火) 午後2時～午後3時30分

【場 所】 スカイホール豊田 中会議室

【出席者】 (委 員) 菊池 秀夫 (中京大学 スポーツ科学部 教授)《会長》
福岡 信明 ((公財)豊田市スポーツ協会 常務理事)《副会長》
加藤 恵美子 (豊田市スポーツ推進委員協議会 会長)
芝田 みゆ (公募委員)
谷山 由香利 (豊田市女性スポーツ団体協議会 会長)
塚本 誠 ((株)豊田スタジアム 常務取締役 管理部長)
手嶋 道雄 (豊田市スポーツ少年団 本部長)
築瀬 歩 (地域スポーツクラブ会議 委員)

【欠席者】 (委 員) 安藤 貴通 (公募委員)
岩月 幸雄 (豊田市健康づくり協議会 会長)
梅村 郁仁 ((株)名古屋グランパスエイト 広報コミュニケーション部 部長)
岸田 多加司 (トヨタ自動車(株) スポーツ強化・地域貢献部 地域貢献グループ長)
佐宗 敏久 (愛知県中小学校体育連盟豊田支所 支所長)
清水 弥生 ((一社)豊田市身障協会 副会長)

【事務局】 粕谷 浩二 (生涯活躍部部長) 南 良明 (生涯活躍部副部長)
都築 保裕 (生涯スポーツ推進課課長) 塚田 知宏 (スポーツ戦略課課長)
古川 真一 (生涯スポーツ推進課副課長) 太田 信人 (スポーツ戦略課副課長)
阿垣 一大 (生涯スポーツ推進課担当長) 山田 統裕 (スポーツ戦略課担当長)
小石 拓也 (生涯スポーツ推進課主査)
川治 明恵 (生涯スポーツ推進課主事)

【傍聴人】 なし

【次 第】 1 会長あいさつ
2 生涯活躍部あいさつ
3 議題
(1) (仮称) 第4次豊田市生涯スポーツプランの策定について
(2) (仮称) 第4次豊田市生涯スポーツプランの名称について
4 答申
5 その他

【会議録（議題部分のみ）】

■議題（1）（仮称）第4次豊田市生涯スポーツプランの策定について

事務局：資料に基づき、（仮称）第4次豊田市生涯スポーツプランの策定について説明

事務局：素案 60 ページ、取組内容①「ラリーを活かしたまちづくりの推進」について補足説明をします。ラリー競技について、今年度は市内で3つの大会が開催され、こういった大会を活かして、様々な地域活性化の取組などを行っています。この他に、もう1つ世界ラリー選手権の開催が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり中止となっています。世界ラリー選手権は、2020年、2021年、2022年の3年間での開催が決定していたところですが、2020年、2021年については、中止になっています。来年の2022年については、先日に概要が発表され、豊田市を含む愛知県、岐阜県で開催をする予定です。2022年は、民間が主催で開催をすることになっていますが、2023年以降は、開催が白紙の状態となっています。

11月26日の豊田市長の記者会見では、2023年以降について、豊田市が主催となって開催ができるよう、誘致をしていくことを発表させていただきました。現時点でのスポーツプランの素案では、誘致をしていく旨の記載がありませんので、誘致に関する記載を追記したいと考えています。

会 長：豊田市から積極的に誘致を進めていくことを掲げたということでしょうか。

事務局：海外のプロモーターの方は、日本で継続開催をしたいと思っっているようです。ラグビーワールドカップが開催された時に、豊田スタジアムにお越しいただいたという経緯もあり、大規模なスポーツ大会が開催できる豊田市であれば、ポテンシャルがあるだろうということからお話をいただきました。

モータースポーツをきっかけに、車好きの方を増やしていきたいという思いもあります。

会 長：ありがとうございます。

事務局から説明のあった内容について、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

委 員：資料1の5ページにありますパブリックコメントへの回答についてです。1校において複数の出前教室を実施することもあるため、延べ学校数というように指標を変更したとなっていますが、延べ学校数という言葉の意味がよくわかりません。例えば1校で、2つの出前教室を行った際に、実施した教室数は2件ではありますが、延べ学校数として2校とするのには違和感があります。

会 長：延べ実施件数などとすると良いと思います。

事務局：ご意見の通り、わかりにくい表現になっているかと思っておりますので、わかりやすい表現となるよう修正をしていきます。

委 員：素案 43 ページ、概要版 3 ページにある、基本方針 2 についてです。「市の豊富なスポーツ資源を活かし、まちの魅力創出につなげます」とありますが、「市の豊富なスポーツ資源」と聞くと、行政機関である豊田市の公共施設などのスポーツ資源というようにも解釈ができます。「市の」という文言は取ってしまい、「豊富なスポーツ資源」という表現だけでも、十分に伝わるように思います。もしくは、「本市の」「豊

田市の「市内の」などという表現に変えると良いと思います。

素案 50 ページの 4 章以降を見ていると、「創出します」「支援します」「実施します」といった文言が並んでいます。取組のレベルや内容については、具体的な記述がありません。取組指標には、数値目標を掲げないという方向ですので、それぞれで考えている実施計画において、具体的な内容を整理し、示しながら進めていただきたいと思います。

委員：素案 63 ページに新たに記載がされ、「スポーツ関係者による会議開催」とありますが、市が中心となって定期的に会議を開催してほしいと思います。

スポーツコンソーシアムということで、中京大学を中心に、豊田市やトヨタ自動車、朝日丘スポーツクラブ、スポーツ協会などが集まり、1～2か月に1回程度の会議を開催することで、情報交換などを行っています。会議体を充実させて、具体的な施策をつくってほしいと思います。

生涯スポーツプランは、4年間となっています。その4年間で、こういった団体や組織が、どのような内容の事業に取り組んでいくのかということについて、調整役も含めて、豊田市が中心となり進めてほしいと思います。それぞれの組織において、単年度で場当たりの事業展開がなされてしまうことが懸念されます。会議体を充実させて、生涯スポーツプランを実現できるよう進めていただきたいと思います。

事務局：基本方針 2 の「市の豊富なスポーツ資源」という表現については、豊田市内にある資源ということの意味していますので、誤解を招くことがないような表現にしていきます。

会長：では、「市の」という文言は無くして、「豊富な」という表現から始めるということでも良かったでしょうか。良ければ、その方向で修正を進めてください。

事務局：指標としては、状態指標と取組指標の 2 つを設定しています。個別の取組にかかる指標については、数値目標を設定していません。そういったことを踏まえて、会議の中で補足していけるように取り組んでいきたいと考えています。少なくとも、こういった数値目標を、毎年の実績として補足していくことは必要であると認識しています。

場合によっては、指標にとらわれずその都度新しいものを考えていくことも必要かと思っています。状態指標を達成していくための取組を議論しながら、臨機応変に進めていきたいと思っています。

会長：委員よりご意見をいただきました、スポーツコンソーシアムについてどのように進めるのかは、できるだけ絵に描いた餅にならないように、具体的に進めていける施策としていくことが重要かと思っています。

事務局：スポーツを取り巻く関係団体の皆様方との意見交換などの中で、よりスポーツ施策を推進していくということについては、とても重要になってくる部分かと思っています。絵に描いた餅とならないよう、会議を開催し、目標を達成していけるように進めていきたいと考えています。

委員：素案 50 ページについてです。施策の柱としては、「スポーツをする機会の拡充」となっていますが、状態指標には「運動」と記載があります。なぜ、ここだけ「運動」という記載なのでしょう。

「運動」と「スポーツ」は、若干ニュアンスが異なります。「運動」と「スポーツ」をどのように定義しているのかについてお伺いしたいです。

事務局：設定しています状態指標については、全国体力・運動能力調査から使用している表現になります。

言葉の定義ということになるかと思いますが、本プランにおいては、体力づくり等を含めたスポーツということにしています。ご指摘いただいた箇所については、他ページとの整合性を図ることも踏まえて、修正をできるかどうか検討します。

委員：素案 53 ページの成人に対する取組における状態指標では、「スポーツ」となっています。

素案 50 ページのように、「子どもが楽しくスポーツに取り組める機会の提供」において、「運動」という表現であると、楽しくないというイメージになるような気がします。楽しくスポーツをする時間を確保するという方が、大切であると思うので、「運動」という表現ではない方が良いと感じます。

委員：素案 7 ページにスポーツの定義が記載してあります。定義の内容を踏まえると、「スポーツ」という表現で良いように思います。

委員：指標に記されている全国体力・運動能力調査における「運動」という言葉は、体を動かしてカロリーアップをするという意味合いでの運動をしているかどうかということを知っているのだと思います。しかし、素案 50 ページの本文にある「運動」については、「スポーツの場を創出」「スポーツの機会を提供」ということで混同されているのだと思います。

会長：指標のもとになった調査では、「運動」と表現されていたということですが、恐らく「スポーツ」という意味合いだったと思います。それを踏まえると、スポーツという表現に置き換えても、大きな問題はないかと思います。プランの中での整合性としては、「スポーツ」と統一した方が良いように感じます。

委員：前回の審議会の内容を踏まえて、重点取組が設定されています。施策の柱における重点取組としては、「地域経済の活性化に効果的なスポーツツーリズムの取組の推進」となっています。大規模スポーツ大会を利用して、地域経済の活性化に取り組んでいくことについて異論はありません。しかし、生涯スポーツ推進課がつくるプランにおいて、重点取組がスポーツツーリズムの推進ということに少し違和感があります。スポーツツーリズムの取組自体は、産業部の範疇であるように思います。

事務局：施策の柱 2 における「スポーツを楽しむ風土の醸成」の中で、今回重視した点としては、スポーツツーリズムの取組ということです。これまで取組を行ってきていないわけではないですが、特に力を入れていきたいところとして設定をしていますので、その点についてはご理解をいただければと思います。

事務局：「地域経済の活性化に効果的なスポーツツーリズムの取組の推進」となっていますが、スポーツツーリズムの中には大きく 3 つあると思います。1 つ目は、大会を誘致することです。2 つ目は、大会に足を運んでもらえるように告知することです。3 つ目としては、まちにお金を落としてもらうということです。こういったことをひっくるめて、スポーツツーリズムの推進と理解をしています。3 つ目の内容に関しては、産業部と連携をして進めていくところではありますが、一体となって進めてい

くようにしています。

会 長：一般的にスポーツツーリズムというと、外から人が来て、お金を地域に落としていくことが前提にあるかと思います。そういう観点からみると、市民がどう楽しむのかということに対するニュアンスとの違いが生まれる面もあるように感じます。

事務局：大規模スポーツ大会の開催においては、外からのお客さんはもちろんですが、市民の方にも PR をして、トップスポーツに身近に触れてもらいたいと考えています。

会 長：市民の楽しみを下支えするというような意味でのスポーツツーリズムといったところでしょうか。

委 員：素案 43 ページ、概要版 3 ページにある、めざす姿に関わってくる内容かと思います。生涯スポーツプランであるため、主役は市民です。めざす姿では、スポーツを通じて市民が生き生きと活躍をし、その活躍がまちの活性化につながっているという内容です。市民は、スポーツをする・みる人であると同時に、外からの人をもてなし、交流などを通して、まちの活性化につながるということだと思っています。それを踏まえると、スポーツツーリズムという機会を通して、市民自体が交流の機会を持ち、そのことがまちの活性化につながるということから、重点取組に挙げられているのではないかと理解しています。

委 員：施策の柱として「スポーツを楽しむ風土の醸成」となっているので、これに直結する重点取組は、「豊田スタジアム、スカイホール豊田を活かした『見る』スポーツの推進」だと思います。大規模スポーツ大会を誘致することにより、見るスポーツを推進するということが重点取組となるように思います。それに付随して、スポーツツーリズムも推進していくということだと思っています。スポーツツーリズムの取組を推進して、楽しむ風土が醸成されるのかということが少し疑問であり、つながりが弱いように感じます。

事務局：市として、スポーツツーリズムの取組を重点取組として進めていきたいと考えているのは、見るスポーツということに関してはこれまで推進してきていることも踏まえて、今後は、スポーツツーリズムにおける取組を強化していきたいという考えです。

会 長：市では、スポーツツーリズムに関わる部署として、実際にはどういったところがあるのでしょうか。

事務局：基本的にはスポーツ戦略課ですが、商業観光課とも一緒に取り組んでいます。また、ツーリズムとよたという組織もあり、そういった組織を含めて色々なアプローチをしているところです。

例えば、スカイホール豊田で行われている大会の主催者の方にアンケートを行い、お話を伺う中で、大会で用意されていたお弁当の注文を市内の業者に切り替えるなどして、市内に落としていくお金を増やす取組を行っています。

ラリー競技の大会においては、150 チームほどの参加があり、スタッフも含めて約 2,500 の宿泊がありました。今後は、もう 1 泊してもらうような構成とするなどの交渉をしていこうと考えています。

スポーツ協会においても、おもてなし事業としてスカイホール豊田で行われる大会では、主催者の方の意向もお聞きしながら、販売などを行っています。

それぞれが役割分担をしながら、進めているところです。

委員：お話にも出てきているように、生涯スポーツプランとしての重点取組は「見る」スポーツの推進になるかと思えます。その上で、市としては、今後のスポーツ推進に向けて、スポーツツーリズムの取組を重点取組として選んだと思えます。

会長：スポーツツーリズムを発展させることで、市民の楽しみにつながっていくということに関して理解はできます。今回のプランにおいては、スポーツツーリズムを重点取組として取り上げていくというニュアンスをうまく表現できればと思えます。

委員：施策の柱を「スポーツを楽しむ風土の醸成」とすると、「見る」スポーツの推進という要素が強いので、例えば、「スポーツを楽しむ風土からの広がり」や「スポーツを楽しむ風土からのまちの活性化」というように変更すると、つじつまが合うように感じます。

事務局：施策の柱に込められた「風土の醸成」という言葉の中に、ベースとなるものをつくっていくということはあると思いますが、「楽しむ」ということを全体的に推進していくという意味を含んでいるという理解は難しいでしょうか。

施策の柱を変えていくとなると、影響が大きいように思います。

会長：「楽しむ風土の醸成」ということでも、幅広く捉えることはできるように感じます。

委員：前回の審議会にもありましたが、豊田市として「する」「みる」「ささえる」ではなく、「する」「楽しむ」「支える」としていることから、「楽しむ」ということの中には、交流やイベントの企画なども含めて、幅広く捉えていくという趣旨があるかと思えます。そういったことから、スポーツツーリズムの取組に関しても、市として広めの捉え方をしているように思います。

会長：経済的な面だけで捉えるのではなく、交流や文化、多様性という形で解釈をし、スポーツが重要な役割を果たしていくという考え方が必要であると思えます。

事務局：プランのどの部分で表現していくかということ踏まえ、検討したいと思えます。

委員：素案 60 ページの取組内容①「ラリーを活かしたまちづくりの推進」とありますが、まちづくりの意味を教えてくださいたいです。取組内容②では、地域経済の活性化となっていますが、あえて「まちづくり」と表現しているのはなぜでしょうか。

事務局：市としては、もう少しスポーツの分野を越えて、大きな形で捉えていきたいと考えています。ラリー競技を活かして、山間振興、交通安全の推進、産業振興ということで、大きな捉え方をしている事業です。山間振興については、市の7割が山という中で、山間地域の人口は減少しています。ラリー競技のコースとしては、山間地域のコースを使用して開催されます。開催時期が11月ということもあり、開催を通じて山の美しさや、保存の大切さなども感じてもらいたいというねらいもあります。

豊田市は自動車のまちですので、車好きの方を増やすことや、若者の自動車離れの助けとなるよう、豊田市から発信していければと考えています。

こういったことを踏まえながら、幅広く捉えた表現としています。そういった内容を補足して記載していきたいと思えます。

会長：例えば、「ラリーを活かしたスポーツを楽しむ風土の醸成とまちづくり」など、補足していただければと思えます。

委員：ご説明にあった山間振興や交通安全ということの記載があれば、まちづくりの具体的な内容がわかるので、是非加筆をお願いします。

委員：施策の柱2における、取組方針③では「地域経済の活性化に効果的な」という表現があることで、お金の話が表に出ているように感じます。しかし、先ほどのまちづくりの話などを聞いていると、山間地域の皆さんがラリーを受け入れることで、地域の活性化につながっていくというイメージがわきました。そう考えると、「経済」を取って「地域の活性化」という表現でも良いかもしれません。

会長：スポーツツーリズムというと、地域経済の活性化という発想になりますが、それも含めた地域の活性化とし、幅広く捉えた示し方や表現ができると思います。

■ 議題（2）（仮称）第4次豊田市生涯スポーツプランの名称について

会長：現時点では、（仮称）第4次豊田市生涯スポーツプランとなっていますが、（仮称）を取り、「第4次豊田市生涯スポーツプラン」という名称でよろしいでしょうか。

各委員：異議なし

会長：出てきた意見を検討し、修正事項は盛り込んでいただいて、「第4次豊田市生涯スポーツプラン」という形でいきたいと思います。

会長：全体を通して何かご意見はないでしょうか。

いくつか修正事項は出てきましたが、今回の素案に関しまして決議を取りたいと思います。第4次豊田市生涯スポーツプラン（素案）に賛成の方は、挙手をお願いします。

各委員：全員挙手

会長：賛成多数ですので、承認されたこととします。この内容で、市に答申をしたいと思います。それでは、これもちまして審議を終了いたします。

以上